

2025年度 解答速報

福岡大学附属大濠中学校入試【国語】

2025年 1月18日実施

国語

- 一 問一 ア 問二 ウ
問三 (例) 男性は家の代表として社会に出て政治に参画し、女性は子どもを産み、育て、家の中のことを取り仕切るべきだ〔と考える差別や偏見。〕
問四 エ 問五 ウ 問六 エ 問七 イ
問八 (例) 「性別」などといった基準で人を見るのではなく、思い込みや早合点をせず、ひとりひとりの個性をていねいに見つめていく姿勢。
問九 X (例) 男性に比べて給与の少ない女性は、割引されることの恩恵が大きい
Y (例) 男女間の賃金の格差をなくす
- 二 問一 ウ 問二 日本っぽい、ふつうのお弁当 問三 ア
問四 A (例) 周りところがう
B (例) サリタが周りに合わせる必要がある
C (例) 相手のことをより深く知ろうとする
問五 エ 問六 エ 問七 イ 問八 ウ
問九 (例) 外国人やネパール人といった固定観念を持って接するのではなく、サリタやその家族を個人ととらえて向き合えるようになった
問十 ア 問十一 イ
- 三 問一 ① 規格 ② 承認 ③ 因果 ④ 除〔く〕 ⑤ 起源
問二 ① じゅうだん ② ゆだ〔ねる〕 ③ とうそつ ④ いとな〔んで〕 ⑤ ひょうり
問三 ① 一条 (いっし) ② 島 (しま) ③ 鼻 (はな) ④ 腕 (うで) ⑤ 水 (みず)
問四 ① ウ ② エ ③ イ ④ ア ⑤ ウ

【講評】

大問一はジェンダーギャップについての説明的文章であった。問九は会話文形式の文章を資料と関連付け、二つの空欄を自分で考えて埋める記述問題で、書くべき要素をとらえるのが難しい。大問二は落合由佳『要の台所』からの出題で文学的文章であった。クラスで嫌な思いをしているネパール人の友人を助けようとする主人公が、人とのかかわりを通して自分の価値観を改めていく、という内容であった。文章は比較的読みやすく、設問も取り組みやすいものが多いが、問九は本文の主題を要約して説明する記述問題で難しい。大問三は漢字語句の問題で、問四の言葉の意味を選ぶ問題は、昨年度は非常にまぎらわしいものもあり難しかったが、今年度は取り組みやすい問題であった。全体として、漢字語句・記号選択・書き抜き・記述とバランスよく出題されており、高度な国語力が要求される良問であった。難易度は例年並みだと思われる。